

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月13日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1270800814		
法人名	株式会社 安養介護サービス		
事業所名	グループホームあんよう荘		
所在地	千葉県市川市南大野2丁目30番17号 (電話)047-303-7866		
評価機関名	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2丁目10番15号		
訪問調査日	平成21年2月20日	評価確定日	平成21年3月13日

## 【情報提供票より】(21年2月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	23 人	常勤 9人, 非常勤 14人,	常勤換算5.1人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋軽量コンクリート 造り		
	3階建ての 2 ~ 3 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	69,800 円	その他の経費(月額)	18,500 + 実費 円	
敷金	有( 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(250,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(1月28日現在)

利用者人数	15 名	男性	3 名	女性	12 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名		
要介護3	7 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	76 歳	最高	90 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	(社団)慈恵会吉岡医院、浮谷歯科医院、ラビット歯科、(社団)うつぎ会法典
---------	--------------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は理念として「急速に進む高齢化社会の中で、高齢者が人間としての尊厳を失わず、明るく楽しく幸せに余生が過ごせる社会の実現を目指し、地域の社会福祉活動の中核として、高齢者福祉の推進を図り理想郷実現に邁進する」を掲げた地域密着型の認知症高齢者グループホームである。建物・設備は増改築の為、必ずしもハード面は恵まれてはいないが、運営マネジメント、介護支援の工夫、家庭的な明るい雰囲気作り等ソフト面の対応で補完しているホームの運営努力は高く評価できる。特に残存機能自立支援を兼ねた大型貼り絵や布製の人形の共同制作は入所者にとっても貴重な楽しみであると同時に恒例行事にもなっており当ホーム独自の大きな特徴となってい

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の改善課題については 地域密着を目指す対策 介護レベルの向上策、は改善されたが 地域に理解を得る為の弛まぬ働きかけ 運営推進会議の議題の充実 家族会の実現の検討 不満苦情を言い易い環境作り 職務調整、シフトの改善は今後の課題として残った。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は主任のリーダーシップのもとに、現場職員が話し合いで作成し、幹部の意見やアドバイスを受けて取り纏める等、全員参加の取り組み姿勢がうかがえる。評価結果は真摯に受け止め、改善点は現場主導のボトムアップで改善検討される事から現場職員のモチベーションアップに繋がっている。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は年6回開催されている。議題もホームの現況報告に始まり、行事報告、介護報酬改定、介護保険の動向、若年性認知症、防災訓練、外部評価結果報告と多岐にわたり意見交換が行われている。20年度外部評価で指摘された改善課題を今後の運営推進会議の議題として上程し、委員の参考意見を拝聴されると有効である。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>重要事項説明書で苦情相談窓口を明確にして、不満、苦情の他に住環境の改善、外出介護要請等、広く家族の要望も適宜受付けている。直接事業所に寄せられる不満、苦情の収集は十分でない事から、ホーム内には社協の運営適正委員会の案内が掲示されている。行事後の家族懇親会で家族間の話し合い機会を増やすなど、気軽に要望等が言える雰囲気作りの工夫を期待したい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>当事業所は当該地域自治会に加入し、回覧板を通じて地域情報の収集理解及びクリーン作戦などの地域行事への参加によって、地域の人々との交流を深めている。また地域の中で高齢者福祉分野での相談の窓口となる役割を果たすべく努力している。今後高齢者共同居住者施設として地域への理解を深めるための弛まぬ働きかけ努力を期待したい。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>法人の理念である「急速に進む高齢化社会の中で、高齢者が人間としての尊厳を失わず、明るく楽しく幸せに余生が過ごせる社会の実現を目指し、地域の社会福祉活動の中核として、高齢者福祉の推進を図り理想郷実現に邁進する」に基き、「私たちは、入居者と家族、地域住民とともに高齢者への理解を深めながらともに生活し、助けあう努力を惜しみません」を事業所理念として明文化されている。</p>		<p>当事業所は地域社会における高齢者福祉活動の中核的な役割を果たすことを目指しているが、地域密着型サービス事業所の理解を深める為、「コミュニティ大野サロン」に参加し、大柏井地区の住民の方々との交流（意見交換）を行うことによって、地域住民の理解を深めることが徐々にできてきているが、更に地域密着型サービスへの理解を深める努力を期待したい。</p>
2	2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>これらの理念は重要事項説明書に明文化する他に、事業所の各階にもわかりやすい文章で掲示されている。管理者と現場職員は日々の会話、コミュニケーションを通じて理念の共有を図り 理念の実践に取り組んでいる。現場では主任主導でフロアリーダー他スタッフに対し、ミーティングを通じて理念の共有が図られている。</p>		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>当事業所は当該地域自治会に加入し、回覧板を通じて地域情報の収集及びクリーン作戦などの地域行事への参加によって、地域の人々との交流を深め、地域の中で高齢者福祉分野での相談の窓口となる役割を果たすべく努力されている。</p>		<p>地域の人々との交流努力によって徐々に理解が得られるようになってきている。今後高齢者共同居住者施設として更に地域への理解を深める為の弛まぬ働きかけを引き続き期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	20年度自己評価は現場主任、フロアリーダーが話し合っって作成し、ホーム長、各階管理者の意見やアドバイスを受けて取りまとめている。19年度評価結果における改善点のうち地域密着の役割を目指した具体策 ベテラン職員による実践的な現場指導の徹底による介護レベルの向上、は改善対応ができています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	20年度（過去1年間）は2ヶ月毎、年6回開催（3月予定含む）されている。議題もホームの現況報告に始まり、行事報告、介護報酬改定、介護保険の動向、若年性認知症、防災訓練、外部評価結果などについて意見交換が行われているが、情報連絡に終わる傾向にある。		20年度外部評価で指摘された運営及びサービスの改善課題 地域に理解を得るための弛まぬ働きかけ、運営推進会議の議題の充実、家族会の実現に向けての検討、不満、苦情を言いやすい環境づくりを今後の運営推進会議の議題として上程し、委員と意見交換し、参考意見を拝聴されると有効である。
6	9	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	書類の提出時を含み、月に1回以上は市当局に出向き、市職員と直接面談し情報交換がなされている。地域包括支援センターには常にホーム空き部屋情報を紹介し、斡旋協力をいただいている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に日常生活の記録（含食事メニュー表）や介護支援経過、医療受診報告が毎月書面にまとめられ家族ごとに郵送されている。家族への報告は来荘時、電話、電子メール、書面報告など、家族の状況や緊急度合いにより連絡形態が配慮されている。医療面で緊急を要する場合は即電話連絡され、来荘時にも必要に応じて近況の報告がなされている。		家族が参加される敬老会などのホーム行事の後に懇親会が行われているが、家族会予備会として家族同士が同じ悩みについて話し合える場作りの配慮が期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に重要事項説明書で苦情相談窓口を明確にお知らせしている。「住環境の改善」「外出介護要請」など、広く家族の要望も適宜受け付けている。直接事業所に寄せにくいのか不満、苦情の収集実績は少ないため、ホーム内には社協の運営適正委員会の案内掲示も行っている。		ご家族アンケート調査結果に見られる不満や苦情を話しやすいよう日常的にコミュニケーションを図り、地道に声かけをするなど、気軽に言ってもらえる雰囲気作りの更なる工夫を期待したい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の支援の固定化をベースに、現場職員の意見を取り入れながら、人員配置や毎月のシフト作成を行い、利用者にとって馴染んだ職員のケアが受けられるよう配慮されている。職員の離職などによって職員不足に陥り、毎月の人員配置やシフト作成結果は一部過負荷が見られるものの、現場主任や現場職員の兼務対応努力によって入居者へのケアに対するダメージを防ぐ配慮がなされている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年常勤職員には、県の管理者研修、認知症介護実践研修（実践者研修）、新任研修、身体拘束研修、市社協の感染症研修、をなるべく多くの職員が受講できるよう、職務を調整しながら研修計画を策定、実施している。		ぎりぎりの要員配置でのシフトとなっているため研修日程確保のための職務調整及びシフトの改善が望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の介護保険連絡協議会専門部会、全国グループホーム協会、千葉県認知症高齢者グループホーム連絡会、県・市社協、の会合、研修、講演会に参加する機会に、管理者、主任は同業者との交流があり、積極的に意見交換をしている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p align="center"><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>					
<p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>当事業所では入居者の「帰宅願望」を少しでも軽減する為に、「介護に対してご家族の協力が不可欠」とのご理解を頂いている。ご家族と入所相談後、昼食会を設定し、入居者には少しでもホームの雰囲気を知っていただくための体験入居も必ず行っている。状況に応じて何度も繰り返すこともある。</p>		
<p><b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b></p>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者と喜怒哀楽を共にし、子供のしつけ問題やおしんこのつけ方、得意分野の裁縫など、入居者の昔の生活から教えてもらったりして、利用者の感情を理解しながら、共に生活する場としての支援を行っている。</p>		<p>高齢化、重度化によって共に過ごしあう関係作りが減少しているので、高齢化、重度化に対応でき、共に生活する場としての支援方法の検討が望まれる。</p>
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の思いや意向は日常の会話や発語から信頼関係を築きながら把握している。発語のない入居者は表情や動作を丁寧に観察することによって汲み取り、心身の変化もこまめに記録しながら把握している。特に当事業所では家族と緊密なコミュニケーションをとりながら介護支援を行っており、面会時に交す会話や電話での会話からも希望や意向の把握に努めている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者の心身の状況は毎日介護支援経過書に記録し、職員間で閲覧して情報の共有化を図っている。家族にも介護支援経過記録と医療・受診報告を毎月書面にして送り、入居者の状況を共通理解している。また、管理者は面会に来荘した家族に積極的に接して、意見や希望を聞いている。そのうえで、介護計画策定には、管理者が家族から聞いている意見や希望も反映させながら、介護主任を中心に、フロア・リーダー、計画作成担当者によるチームの話し合いで介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は6ヶ月ごとに定期的に見直しをしており、モニタリングも毎月行なっている。入居者の心身の状況は日によって変化しがちであるが、今までできていたことが継続的にできなくなって、気力体力が減退してきたと判断されるときは、定期の介護計画更新を待たず、介護計画を変更している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者・家族の要望については、できることできないことを十分話し合ったうえで、受診の支援など柔軟な支援を行なっている。在宅の認知症の方にも、体験入所の要望を弾力的に対応している。将来的には地域の高齢者が来荘し、気楽に食事ができる場所にしたいと考えている。</p>		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所してから協力病院をかかりつけ医にするのも、入所前のかかりつけ医を続けるのも本人・家族の希望に応じている。受診は家族の付き添いを原則にしているが、事情によって家族が付き添えないときは事業所が対応している。処方薬は事業所が受け取りに行っている。協力病院の医師が毎月一回以上往診に来ている。眼科、歯科医院も同様に月一回以上往診に来ている。受診結果は家族に電話と書面で医療・受診報告をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期のあり方については、入所の相談があった段階で、家族に説明している。入居者の心身が減退してきても、できる限り事業所で介護していく考えでいる。重度化して、特別養護老人ホームや介護療養型医療施設がより適していると認められる場合は、当該施設を勧めることを方針にしている。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者への声かけは命令口調や指示口調にならないように気をつけている。トイレへの誘導もさりげなく入居者の誇りを傷つけない配慮をしている。外出先では心身の状況などプライバシーに関わることは話さない。入居者の個人情報を記録しているパソコンは一階事務所に設置してあり、パスワードを持っているホーム長と計画作成担当者(介護支援専門員)だけが操作できる仕組みになっている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者別に週間サービス計画表を作成して、介護支援スケジュールにしているが、起床・就寝時間、食事時間など日常の生活ペースはスケジュールにこだわることなく、入居者のペースを優先させている。レクリエーションの参加も入居者の選択に任せている。以前は好きだったと家族から聞いていることも現在は別のことが好きになっている入居者もいるので、固定観念にとらわれず、入居者の思いや希望に沿った支援ができています。</p>		<p>ベテラン介護職員は入居者の意向を日常の行動や会話から把握する優れた技能を習得してレベルの高い入居者支援に生かしている。経験の浅い職員も入居者の意向を把握する技能をその場面その場面で、ベテラン職員から実践的な現場指導を受けて把握できるようになっている。最近は勤務年数が短期になって、習得した技能を生かせきれない傾向もあるが、介護の実技指導をする中で技能を伝える職場内研修を引き続き期待したい。</p>

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>日常生活を生活リハビリと位置づけて、献立から食事の準備、食事、後片付けまで一連の流れを入居者の力に応じて、職員と一緒にこなしている。月に一度は入居者の希望を取り入れたお好み食を実施している。また、毎週一回パンの日があって、入居者は自分の好きなパンを買いに行っている。職員も介助を兼ねて同じテーブルを囲んで、目の前のおかずの味付けや食材の調理の仕方など共通の話題をしながら、一緒に楽しく召し上がっている。食事は入居者個人個人のペースで召し上がっている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴の曜日、時間、温度などは入居者の希望を聞いて行なっている。衣服の着脱から入浴まで介護職員とマン・ツー・マンで入浴している。一人ひとり入浴しているので、プライバシーにも十分配慮されている。入浴を拒否される入居者は会話や話題で気分転換をして、納得してから入浴していただくなど、入居者の気持ちへの配慮が行届いている。</p>		<p>入居者の希望にそった入浴時間帯やお湯の温度などに配慮されて、入浴を楽しまれておりますが、気力体力が減退して入浴を避けがちになる傾向の入居者に対しては、入浴を楽しまれる工夫の検討を期待したい。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>当事業所では食事、洗濯、掃除など日常生活を生活リハビリとして位置づけている。昔取った杵柄や趣味など得意なものを役割分担していただいている。役割はお好み食の献立作り、食材のチェック、テーブル拭きなど20数項目にわたっている。レクリエーションも貼り絵、マスコット作り、編み物など多彩に用意されている。中でも共同制作される貼り絵は毎年恒例となっており、市の高齢者作品展である明青展に出展され家族も展示会に出かけている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>事業所の行事として菖蒲園に出かけることもあるが、日常は近くのスーパーに買い物に出かけたり、天気がいい日は近隣に草花の観察に出かけるなどの支援をしている。また、家族にも外出の協力をお願いしており、休日には家族と一緒に外食や小旅行を楽しむ入居者もいる。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>近隣で空巣があって無用心なことから、チャイムをつけたりオートロックにしたが、中からは開けられるようになっている。帰宅願望の入居者には常に見守りをしているが、突然無断で買い物に出かける入居者もいるので、同じビルの一階の楽器店にも見守りの協力をお願いしている。また、散歩で顔なじみになっている近所の方も声かけしてくれるようになって、見守りの範囲が広がっている。</p>		
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年間計画で2回の避難訓練を消防署員立会いで実施している。夜間の避難については警備会社と5分以内に駆けつけてくれる契約をしている。また、消防署も事業所に近く、火災の場合は火元から遠いベランダに避難して援助を待つように指導されている。現在、火災に備えてスプリンクラーの設置を計画している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者全員の食事摂取量を記録しており、不足している入居者には栄養摂取の支援をしている。日常的に水分が不足している入居者も摂取量の記録をとって、足りない水分は家族と相談の上、お茶、清涼飲料水、コーヒーなど好みのもので補給している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>近所からいただく切花を飾って季節感を出したり、やはり近所からいただいた着物を解き、それを材料にして入居者が暖簾や小物の人形など作って、玄関や食堂に飾っている。また、共同制作した貼り絵もリビングに掲示するなど楽しさの雰囲気演出している。湿度が不足がちな季節には加湿器を使って、のどに優しい環境作りに配慮している。BGMも入居者の好みで演歌やクラシックを選曲し、癒しの環境作りを工夫している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者本人の意向を尊重しているので、居室には火と刃物以外の慣れ親しんだ日用品や家具・仏壇などを持ち込まれている。そのほか家族の写真や自分の作品なども飾って、入居者にとって居心地の良い居室空間作りができています。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。